

堺井担当局長 × 西川理事長 インタビュー

2025大阪・関西万博 開幕間近！新春対談

西川理事長（以下、「西川」）

今年は大阪で開かれる万博としては、1970年以来55年ぶりに万博が開催される年です。

国内外を問わず様々なパビリオンやテーマがあることで、しよが、どのように世界に向け発信し、どのように足を運んで来られる多くの方々から喜んでもらえる博覧会になるのかをお聞かせ下さい。

堺井担当局長（中小企業・地域連携）（以下、「堺井」）

万博はほぼ5年に1度、世界で開催されています。そして半年間実施される世界最大のイベントと言えます。その中で今回は、約160カ国の国々が万博に参加いただきました。コロナ禍や世界紛争で世界が分断されましたが、大阪・関西万博の開催を通して、分断された世界の解消をできるのは非常に意義が大きいと思います。世界の国々が単に集合するだけでな



く、184日間にわたる開期で何を発信していくのが大事です。

今回の万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。世界の国々が「いのち」をどのように考えるかなのです。「いのち」を考えるということを通じて、いろんな課題を解決し、世界の

国々がどのような未来社会を創り上げようとしているのかを発表していただければと思っています。万博会場ではパビリオン出展だけでなく、多くのイベントが昼も夜も開催されます。

それらイベントは「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマに沿って開催されます。会場に来られた多くの方々を楽しいイベントを通じて幸せを感じることに、且つ、来場者の皆

さまが万博会場内でテーマに沿った体験をすることで、何かを創り上げるクリエイティブな部分につながることを願っています。

1970年の大阪万博はアジアで開かれた初めての登録博で、当時の日本人は海外の方を間近にすること自体が珍しく、アメリカ館の「月の石」をはじめ各国のパビリオンも国威発揚型でした。

近年は目玉展示を創り出しにくい時代になっています。しかし各パビリオンやイベントは万博テーマの達成を意識して創られていることを心に留めて鑑賞・体験していただくことで皆様のいのちに対する考え方のアップデート、充実した人生につながるものと考えています。

大阪・関西万博でテーマウィークを設け、8つのテーマを設定しています。各ウィークはほぼ12日間の開催です。全体のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ですが、8つのテーマは「地球の未来と生物多様性」「健康と



具体的には、各国が同じ課題を見出し、そこで解決策が導き出すことが出来れば、それを各国々に広げていくことが万博開催の大きな意義の1つとなるでしょう。多くの関係者がパビリオンを見学するだけでなく、まさに参加しながら世界の課題をどのように解決するか考える場に万博会場がなっていくのが新しい万博の姿になるのではないかと思います。

西川 おっしゃるとおり、奥深いテーマがあれば尚更、楽しみです。今回、ご苦労されたことは、どのようなことでしたか。

堺井 今回の万博は、未来社会をテーマに取り上げました。「企業がまだ世に出していないものを万博で見せることに取り組んでみませんか、それは企業からすれば、現在開発中で社外に公表したくないことかも知れませんが、今回の万博で出展してみませんか。」と呼びかけました。

大阪・関西万博の場を認識していたとき、企業にも上手くタイミングを見計らっていたとき、企業秘密も含めて来場者に示せる内容にしていたくべく、何年間も費やしたことが大変でした。しかし万博主催者側からすれば、楽しい、遣り甲斐のあることでした。それを世界の方々に見ってもらうことが未来世界ショーケース事業です。今まではないが、万博会場の「未来都市」に行けば、こんな世界、未来社会があると伝えられるのですから。

万博開幕日も近づいてきました。今回外国人の方が多く来場されると予測しています。外国人の方々も含めて184日間で2820万人の来場者数を

人、何千人と来場すれば、アクセスが楽になるのではないかと思います。

堺井 大型客船の入港可能なのは天保山で、大型クルーザーが入港できる場所があります。万博会場の夢洲では大型客船の入港は難しいのですが、夢洲には2カ所の波止場があり、そこに入港できる大きさの船ですと大丈夫です。万博開催中に船で来場者を運ぶ事業者も決まりつつあります。そういう船で来場される対応にも取り組んでいるのです。

西川 55年前の大阪万博の時の「月の石」「ウォッシュレット」「人間洗濯機」などに目を奪われましたが、今回は「いのち輝く」がテーマです。「平均寿命」

や「健康寿命」が取りざたされていますが、「いのち輝く」ということでは「幸福長寿」こそ大事だと思っています。

私もでは、健康寿命は幸福長寿の一要因で、身体的・精神的・社会的に良好な状態だけでなく家族や記憶や介護に至らない生活習慣などにも目を向けています。

「幸福長寿」をアピールしていただければ嬉しいです。

堺井 万博のテーマと「長寿」は切っても切れないことで、例えば「大阪ヘルスケアパビリオン」は健康、あるいはヘルスケアについて様々な展示が実施されます。多くの方が見てビックリする内容が展示されると聞いていますので、本当に期待しています。「大阪ヘルスケアパビリオン」のホームページでいくつか紹介されており、開催前から情報に接するとワクワクするよ

うなことがたくさん出てくると思うのです。

西川 2025年は戦後80年、昭和で言うと100年。私も万博開催を非常に楽しみにしています。

（JMC A理事長 西川雅夫記）

公益社団法人 2025年 日本国際博覧会協会

担当局長（中小企業・地域連携） 堺井 啓公氏

1966年大阪府生まれ。京都大学法学部卒業後、1990年 通商産業省（現経済産業省）入省。2013年 経済産業省商務流通保安グループ博覧会推進室長兼BIE（世界博覧会事務局）日本政府代表兼 ミラノ博日本政府副代表。その後内閣府地方創生推進事務局総括参事官、（独）中小企業基盤整備機構理事などを経て、2020年 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に出向。広報戦略局長、企画局長、機運醸成局長を歴任し、2023年より現在に至る。



動

内閣府認証NPO法人 ジャパン メディカル ケア アソシエーション

理事長 西川 雅夫

（セキセイ株式会社 代表取締役会長）

1948年大阪生まれ。1971年甲南大学卒業後、現リコージャパンに入社。1972年セキセイ入社後、副社長を経て、1985年代表取締役社長に就任。2013年代表取締役会長就任。2020年JMCA理事長に就任、ODC大阪デザインセンター理事、DAS総合デザイナー協会デザイナー会員、大阪商工会議所生活用品部会副部会長、2009年春 黄綬褒章受章。



動

2022年秋 旭日双光章 叙勲受章

- ① スマートフォンのカメラを起動し左のQRコードを読み込みます
- ② (MotionPaper.jp) をタップし [アクセスを許可]、[許可] をタップし
- ③ (モーションペーパーを見つけてみましょう) と表示されたら



マークの写真にかざし、タップするとスペシャル動画が流れます